

広報

No.248

国見町

平成6年2月15日

発行・編集 国見町総務課

おもな内容	平成6年国見町成人式	2
	愛の献血に56人	3
	佐藤伊知子先生講演会	4
	文化団体紹介	5
	お知らせ	6~7
	公民館だより	8~9
	わだい	10



節 分

'94

2月

2月3日は節分。暦のうえでは、翌日から春
とはいうものの、今が一番寒い時期。

藤田保育所では、幼児たちが、手作りの鬼の
面をかぶり、力いっぱい「鬼は外ノ福は内ノ」
と豆をまきました。

幼児たちの熱気に、いてつく寒さも心なしか
遠のいたような感じでした。

はばたけ若い力

171名が大人の仲間入り

平成六年 国見町成人式



成人式にのぞんだ新成人の皆さん

くの来賓の皆さんが見守る中、新成人のそれぞれの地区の代表者に、成人証書を手渡ししました。

また、記念品を新成人の代表の玉木亜希子さんに贈りました。

仲野周一国見町議会議長と東海林正子国見町選挙管理委員会委員長が、来賓祝辞を述べたのに続き、百七十一名の新成人を代表して、佐藤温史さんが、答辞を述べました。全員で記念撮影を行った後、大研修室で記念パーティーが行われ、出席者の皆さんは、

成人の日の一月十五日、親月台文化センター多目的ホールにおいて、「平成六年国見町成人式」が行われました。式には、今年大人の仲間入りをした新成人が、真新しいスーツや晴れ着姿で出席し

ました。

富永武夫町長が、「新しい次代を担う皆さんが、心身ともに健やかに成長して、立派な成人になられたことをお祝い申し上げます」と、式辞を述べ、町議会議員はじめ、多



式辞を述べる富永町長

久しぶりに顔を合わせた同級生と楽しいひとときを過ごすとともに、お互いの成人を祝いました。

式典と記念パーティーには、英語指導助手のベンダー先生やスリランカから国見町を訪れていた四人も出席し、国際色豊かな成人式となりました。

成人式を迎えるにあたって

「はたち」



廣居 剛さん

歳をきかされると「はたち」と答えるのに一瞬のとまどいを感じる。

それは、「もう、はたち」という気持ちと「まだ、はたち」という気持ちの入り混じったなんとも言えないむずがゆさを感じるためである。学生という、中途半端な人



佐藤温史さんが答辞を述べる

間として、いまだに親に甘え、日々、音楽にうつつを抜かしている私は「もう子供じゃないのだ」という意識を持つ一方で、まだまだ大人になりきれない自分の心のはざままで迷いながら日々を送っている。

しかし、自分と社会とのつながりができつつあることに目を向けると、まだまだ青くさい自分自身が一時も早く本当の意味での成人を迎えたい、独立した一人の完成した人間となりたい、と強く願う自分がいることに気づくのである。

きょう、成人式を迎えた私は、「もう」と「まだ」の二つの感情の中で、とまどい、ほんの少し、自分自身を恥じてしまうのである。

成人式を迎えて



渋谷 健市さん

早いもので二十年が過ぎ、成人式を迎えることになりました。

「二十歳」「成人式」という言葉は、これまで自分の歳など気にもかけずに過ごしてきた僕にとっては、ある特別な響きを持っています。それは、人生という長い道程の一点として、現在自分が立っている位置を認識させてくれたように思えるからです。

そこで、人生を登山に譬えるならば「二十歳」という位置は、三合目あたりでしょうか。そして、この成人式は、そこに用意された見晴し台といえると思います。これは、過去も将来も見渡せる見晴し台です。ここまでは夢中で登って来ましたが、そしてちょっと下の方をみてみる。すると、今まで歩んできた一本の道が見え、それと同時に道しるべ

となって下さった多くの方々や、ここまでしっかりと後押しをしてくれた両親の有難さが見えてきました。

そして、ここからは、成人として種々の権利が与えられ、自力で頂上を目指すこととなります。一面に霧が立ち込めているようなこの時代、道を見失ったりせぬように、強い信念を持って力強く歩んで行きたいと思えます。

「弱冠」の歳



武田 和也さん

去年の成人式のパンフレットを読む機会があった。それには去年の新成人の方々の文章も載せられていた。読んでみると、成人になった実感が湧かないといった内容が多かったように思う。自分自身を振り返っても諸先輩方と同じである。二十歳になっても何も変わらない毎日である。「論語」為政篇に人口に膾炙した名言がある。

「吾十有五ニシテ学ニ志ス。三十ニシテ立ツ。」

孔子も晩年、やはり二十歳の時分は未熟だったと感じていたのだろうか。特に回顧していないようである。

二十歳は弱冠と称されるようににまだまだ頼りない半人前の存在なのであろう。新成人のなかにもこのような存在である方々も決して少数ではなからう。私自身も未熟者の一人である。

だが、いつまでもこのままではいられまい。早晚社会的に一人前にならねばならない。そのためには、孔子も一人前になったという而立の歳三十歳に目標を据えて努力と経験を重ねていくことが必要とされたのではなからうか。



お互いの成人を祝いジュースで乾杯

愛の献血に

56人が協力



400mlを献血

一月二十一日、献血バスが来町し、JA福島国見町大枝支所前、仙台ストッキング、国見工場前、沢屋酒店前、清水製作所前の四カ所所で献血活動を行い、五十六人(申込者は五十七人)の方々に協力をいただきました。

なお、平成五年度最後の献血日は、三月一日(火)となっておりますので、町民の皆さんの温かいご協力をお願いします。

献血ありがとうございます

ごさいました

(順不同・敬称略)

- 印は成分献血協力者です
- 印は四〇〇ml協力者です
- (一般)

後藤せき子… 松浦 幹男

- 斎藤 規雄 岡崎 照子
- 佐藤 和夫 玉手 富子
- 小林 光雄 斎藤 正美
- 佐藤 秀一 根本 淳一
- 安達 はつ子 徳江 忠
- 谷津 陽子 佐藤 喜一
- 佐藤ひろみ 武田 雅光
- 大塚 信子 武田 良子
- (JA福島国見町)
- 佐藤 長一… 松浦新一郎
- (仙台ストッキング(国見工場))
- 近江タマノ 村木 公子
- 松浦 ハル 若生 京子
- 大内 幸子
- (清水製作所)
- 曳地すみえ 徳江紀江子
- 阿川 正明 武田 武彦
- 渡辺 明 秦 善五
- 松浦 金蔵 菅野 修
- 斎 栄子 穴戸あけみ
- 八島 政雄 武田 光男
- 瀬野 次男
- (ライオンズクラブ)
- 曳地 勝行
- (国見町商工会)
- 鎌木 正春 穂月 辰也
- 吉田とき子 穂苺 榮治
- 佐久間ツヤ子
- (国見町役場)
- 吉田 義勝 斎藤 忠一
- 村上 幸平 菅野 信明
- 松浦 昭一 後藤登美子
- 鈴木 哲也 佐藤 和夫
- 阿部 正一 蓬田 恭子



バレーボールにかけた青春を 佐藤伊知子先生が熱弁



満員の会場から佐藤伊知子先生に質問が寄せられる

ソウル・バルセロナの両オリンピックに、全日本女子バレーボールチームの一員として出場し、同チームのキャプテンも務め、現在は、母校である東北福祉大学の講師として活躍している佐藤伊知子先生を招いての講演会が、一月十九日、観月台文化センター多目的ホールにおいて開催されました。

講演会は、国見町家庭バレーボール部創部十周年記念事業として、(国見町家庭バレーボール部(松浦和子部長)と国見町体育協会(神津武志会長)の共催で行われました。講演会には、県北中の生徒や町内外からの大勢の聴衆が

訪れ、五百人収容の多目的ホールは、たちまち満員になりました。神津武志さんの主催者あいさつに続き、富永武夫町長が、歓迎のあいさつを行いました。松浦和子さんが、佐藤伊知子先生のプロフィールを紹介した後、大きな拍手に迎えられ登壇した佐藤伊知子先生は、「バレーボールにかけた青春」と題して、バレーボールとの出会いや、練習での苦しい思い出、オリンピックでのエピソードなどをユーモアたっぷりに語り、会場を埋めつくした皆さんは、時間の経つのも忘れ熱心に聴き入っていました。

二十一世紀に向けて

魅力ある村づくり講演会

「魅力ある村づくり」をテーマとした講演会が、町農業・生活改良推進協議会(井砂由男会長)主催により、一月二十五日、国見東部高齢者等活性化センターで開催され、生活改良推進員協議会、生活改善グループ、農業青年会議所、農協婦人部、地域内外から約九十名が参加しました。

講師に迎えられた飯館村公民館長の菅野典雄さんは、昭和六十一年に創設された飯館村の「夢創塾」の初代塾長で、平成元年度「第一回若妻の翼」団長として訪欧。NHK「東



「魅力ある村づくり」について語る菅野さん

北ふるさと賞」を受賞するなど、村おこしの仕掛人」として全国的にも有名。現在、ふるさと福島塾十人委員として活躍しています。

講演の中では、菅野さんは、地域おこしには、日常の生活における積極的なチャレンジ精神が必要であり、夫婦については、助け補うのみでなく、人間成長を互いに高め合う関係が望ましいと、自分自身の体験を通して熱く語り、村おこしへの参加を呼びかけていました。

おはよう!

いつまでも元氣な

「国保」です

《寝たきりゼロへの10カ条》

- 一、脳卒中と骨折、寝たきりゼロへの第一歩。
- 二、寝たきりは、寝かせきりから作られる。過度の安静は逆効果。
- 三、リハビリは早朝開始が効

果的。始めようベットの上下から訓練を。

四、くらしの中のリハビリは、食事と排泄、着替えから。

五、朝おきて、まずは着がえて身だしなみ。寝・食分けて生活にメリハリ。

六、一手は出しすぎず目は離さず」が介護の基本。自立の気持ちを大切に。

七、ベッドから移ろう移そう車椅子。行動広げる機器の活用。

八、手すりつけ段差をなくし住みやすく。アイディア生かした住まいの改善。

九、家族でも社会でも、よろこび見つけ、みんなで防ごう閉じ込め。

十、進んで利用、機能訓練、デイ・サービス。寝たきりなくす人の和。地域の輪。

《寝たきりゼロへの十カ条》は、いま寝たきりの人が、寝たきりを克服するためばかりでなく、いま健康な人が寝たきりにならないために、実践したい十カ条です。高齢者を担っていくこれからの若い人たちが、自分のこととしてとらえ、みんなで実践していきましよう。

(保健課国保係)

文化団体紹介

和紙人形クラブ



和紙人形作りに取り組む皆さん

和紙人形クラブは、公民館主催による町民学校をきっかけに、十年前に発足しました。練習は、九名の会員が、毎月第二土曜日に行っており、直木その先生と山口蓉子先生（共に福島市飯坂町）が、指導に当たっています。直木先生は、町民学校の講師を務めた方でもあります。現在、制作に取り組んでいるのは、京都市の祇園歌舞練場で行われる「都錦」に登場する舞妓、芸者、そして、下手座です。手際よく、和紙をボンドや

のりではりつけ、思い思いに形を作っています。

直木流の特徴は、人形の顔に目鼻を入れず、姿、形、和紙の色彩、紋様で雰囲気を出すことにあります。

「和紙人形づくりは、年代を超えて楽しむことができま

す」と直木先生は語る。「これまでの和紙人形づくりで、一番思い出に残るのは、阿津賀志山防壁での合戦の模様を人形で表現したこと

です。いつも制作に取り組む時は、和紙をどう活かすか難しいけれど、出来上がった時の喜びは格別です」と、会長の早田精さん（山崎字宮前二十一の）が、話してくれました。



見事に出来上がった和紙人形

ふくしま団体県民運動に

みんなで参加しよう

健康を高めよう

「スポーツに親しもう」

◎ここがポイント

いま、お年寄りの人たちは、ゲートボールやグラウンド・ゴルフなどのスポーツに盛んに取り組んでいます。競技が楽しいから、健康を維持するため、地域の人々との交流を図るためなど理由はさまざまでしょうが、現在のようなか家族化の進む社会の中では、心やからだの健康を保ち、地域社会とのコミュニケーションをもつことが、楽しい人生を送るうえでとても大切なことだと思えます。

「生涯スポーツ」が叫ばれている今日、皆さんも国体をきっかけに何か自分にあったスポーツを見つけてみませんか。

◎こんな形で参加してください
○規則正しい生活を心がけ

よう

○清潔な地域環境づくりを進めよう

○献血運動に積極的に参加しよう

○一人一スポーツを心がけよう

○地域のスポーツ大会に積極的に参加しよう

○スポーツ少年団活動に参加しよう



ゲートボールで健康を維持

◎活動事例

（先催県などでは、こんなことが行われました）

「健康づくりに国体音頭」

山形県M市老人クラブ連合会は、お年寄りの方々にばな国体音頭で健康づくりをすすめてもらおうと、市内九カ所で「はつらつ老人健康のつ

どい」を開催したところ大盛況でした。

このうちO地区公民館にはお年寄り四十人ほどが集まり、県民踊協会が制作した「べにはな国体音頭」の軽快なリズムに乗って、思い切り体を動かしました。中には九十歳になる参加者もあり元気なところをみせたということです。

◎一口メモ

「スポーツ行事」

「デモンストレーション」としての「スポーツ行事」というのが正式な名称です。

公開競技とは別に、市民に親しまれているスポーツを普及させる目的で、国体開催中、開催地都道府県内の居住者を対象に行うもので、国体二巡目となった京都国体から実施されています。

ふくしま国体では、綱引き、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、インディアカ、オリエンタリング、ウォークラリー、少年スポーツ（剣道・バレーボール）の七行事が十二町村を会場に行われます。皆さんも、ぜひ参加してください。

お知らせ

ご存じですか

自衛隊貸費学生制度

大学(大学院)に在学する学生で、(歯科、理学(数学、物理学、化学等)および工学(機械、電子、船舶、航空等)を専攻し、修学後に、その専攻した学術を応用して自衛隊に勤務しようとする学生に学資金を貸与する制度があります。

修学後は、陸上・海上および航空自衛隊の幹部候補生に採用されます。

◇貸費学生の種類と応募資格

①技術貸費学生：大学の理学部・工学部の三年次、四年次または大学院修士課程において理学または工学に属する学術を専攻している者

②衛生貸費学生：大学の歯学部歯学科または大学院の歯学研究科に在学している者

◇学資金の貸与と返還

四月から正規の修学年限を終わる月まで毎月四万四千元を貸与。卒業後自衛官として四年以上勤務したときは返還免除

◇受付期間

平成6年1月20日(木)～4月1日(金)

◇試験期日

平成6年4月9日(土)

◇試験場

・仙台、市ヶ谷駐屯地等

◇試験科目

①技術貸費学生：筆記試験、口述試験および身体検査

②衛生貸費学生：作文、口述試験および身体検査

■問い合わせ

・自衛隊福島地方連絡部

☎461920

または

・福島募集案内所

☎315529

第46回 婦人週間

労働省では、我が国の女性が初めて参政権行使した四月十日を記念して、昭和二十四年以来、この日に始まる一週間を「婦人週間」と定め、

女性の地位向上のための啓発活動を全国的に展開している。

昭和五十年の国際婦人年とこれに続く「国連婦人の十年」以降、女性の地位向上のための法律や制度の整備が進み、

制度上の平等はかなり達成されたが、職場、家庭、地域等の様々な分野において、女性の地位向上を図り、事実上の平等を達成することが今後の大きな課題となっています。

女性の地位向上の目指すところは、男女が性にとらわれず、あらゆる分野へ参加し、各人の個性を発揮しながら、いきいきと暮らすことのできる社会を創造することであり、また、こうした社会の実現のために、女性のみならず、男性の認識の向上と社会全体の世論の醸成が不可欠です。

このようなことから、第四十六回婦人週間は、西暦二千年に向け、男女双方が個性を発揮しながら、協調して新しい社会を築いていくために、一層努力することを目標として実施します。

このように、

昭和五十年の国際婦人年とこれに続く「国連婦人の十年」以降、女性の地位向上のための法律や制度の整備が進み、

制度上の平等はかなり達成されたが、職場、家庭、地域等の様々な分野において、女性の地位向上を図り、事実上の平等を達成することが今後の大きな課題となっています。

女性の地位向上の目指すところは、男女が性にとらわれず、あらゆる分野へ参加し、各人の個性を発揮しながら、いきいきと暮らすことのできる社会を創造することであり、また、こうした社会の実現のために、女性のみならず、男性の認識の向上と社会全体の世論の醸成が不可欠です。

このようなことから、第四十六回婦人週間は、西暦二千年に向け、男女双方が個性を発揮しながら、協調して新しい社会を築いていくために、一層努力することを目標として実施します。

このように、

昭和五十年の国際婦人年とこれに続く「国連婦人の十年」以降、女性の地位向上のための法律や制度の整備が進み、

制度上の平等はかなり達成されたが、職場、家庭、地域等の様々な分野において、女性の地位向上を図り、事実上の平等を達成することが今後の大きな課題となっています。

女性の地位向上の目指すところは、男女が性にとらわれず、あらゆる分野へ参加し、各人の個性を発揮しながら、いきいきと暮らすことのできる社会を創造することであり、また、こうした社会の実現のために、女性のみならず、男性の認識の向上と社会全体の世論の醸成が不可欠です。

◇テーマ

性にとらわれず、いきいきと暮らせる時代を築こう

◇キャッチフレーズ

個性で奏でるメロディー
男女で創るハーモニー

◇期間

平成六年四月十日～十六日

ご覧ください

国土調査の 地籍図原図 地籍簿案 (貝田地区)

平成四年度に実施した貝田地区国土(地籍)調査の地籍図原図、および、地籍簿案を次により閲覧してください。

この閲覧の目的は、調査結果の確認と成果の承認です。

◇閲覧の期日

・2月14日～3月7日
(期間中の土曜日、日曜日

も閲覧できますが、2月26日(土)、2月27日(日)は休み

です。

期間中都合のよい日に閲覧

できます。

◇閲覧の時間

・午前9時～午後5時
(12時～午後1時までを除

く)

◇閲覧の場所

伊達西根堰土地改良区

☎2319

・役場3階和室
◇持参するもの
・印鑑

■問い合わせ

・役場企画商工課国土調査係
☎2111 内線251

届けてください

かんがい農地 面積等の異動

伊達西根堰土地改良区(平成六年度の水利費賦課の基準となります)農地について、異動等があった場合は、次により届けてください。

◇届出の必要な場合

・農地の売買等により、所有権に異動の出た場合

・地区除外をされる場合

・経営移譲等(亡くなられた場合も含む)により、名義変更された場合

・農地の貸借が行われた場合(水利費の支払い者名を確

認願います)

◇届出期間

平成六年三月十八日まで

届けて先および問い合わせ

桑折町字西段19

伊達西根堰土地改良区

☎2319

戸籍の窓口

(1月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
華寿美(かすみ)	大久光男	滝山
美由紀(みゆき)	村上利通	第九
南人(みなと)	大槻節夫	第十二

結婚おめでとうございます

氏名	町内会
高野 晃	駅前
古山 千代子	福島市

おくやみ申しあげます

氏名	年齢	町内会
吉川 ムメ	87	山根
菅野 タケヨ	81	内容東
本間 留蔵	75	第一
実沢 久三郎	68	第十二
栗原 さつき	42	駅前
武田 富子	83	大町北
後藤 イマ	85	小坂
齋藤 満男	69	大坂
阿部 正代	70	山崎小館
伊藤 一二	79	第三
遠藤 マク	96	光明寺

人口と世帯

2月1日現在(前月比)1月中のうごき

人口	男 5,725人 (-3) 転入 16人
	女 6,116人 (-8) 転出 19人
	計 11,841人 (-11) 出生 3人
世帯数	3,042戸 (+1) 死亡 11人



2月 如月(きさらぎ)

16日(木)所得税確定申告

19日(土) 水

万国郵便連合加盟記念日

3月 弥生(やよい)

1日(火)全国緑化運動

2日(水)全国火災予防運動

3日(木)ひな祭、耳の日

7日(月)消防記念日

8日(火)国際婦人デー

追加申請を

受け付けます

平成六年度

国見町入札参加資格

■申請の受付期間

・二月二十八日まで

(ただし、土、日、祝祭日は除く)

■申請の受付方法

申請は持参提出とし、郵送による申請は一切受け付けません。

■有効期間

・平成六年六月一日から平成七年五月三十一日まで

■提出先および問い合わせ

・役場総務課財政係
☎021111 内線124

「炎立つ」歴史セミナーのお知らせ

日時 3月6日(日) 午後2時開会 (開場 午後1時)

会場 国見町観月台文化センター

プログラム

・番組視聴 NHK大河ドラマ「炎立つ」関連

・講演 高橋克彦氏

(大河ドラマ「炎立つ」原作者・直木賞作家)

松平保久氏

(制作チーフプロデューサー)

■入場方法

無料ですが、入場整理券が必要です。

入場ご希望の方は、はがきに住所、氏名、電話番号をお書きのうえ、2月22日(火)まで着くようにお申し込みください。

応募多数の場合は抽選。

■あて先・お問い合わせ

〒960 福島市北五老内町1-5

NHK福島放送局「歴史セミナー」係

☎0245-35-1277

町県民税・所得税の

申告は3月15日までです。

忘れずに申告してください。

会場の混雑を避けるため、できるだけ指定日においてください。

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

相談員

2月25日(金) 高橋藤右エ門・佐久間モト

3月4日(金) 高橋 隆雄・渋谷 愛子

3月15日(火) 村上 金正・後藤 アヤ

公民館だより

国見町公民館

☎85-2676

FAX

85-2707

寿祝い新年会

阿津賀志 学級

阿津賀志学級では一月二十日午前十時より、近代的施設設備の整った親月台文化センター多目的中ホールにおいて、恒例の寿祝い新年会を開きました。

新年のスタートを飾るこの新年会は、学級生にとって最も楽しみな行事で、朝方ちらついていた小雪も上がり、新年会を祝うかのように素晴らしい天候に恵まれ、会場一杯

に約三百名という学級生が出席して、和やかな新年と長寿を祝い合いました。
式は学級の歌斉唱に始まり、村上委員長・鈴木公民館長の挨拶後、来賓の富永町長、仲野町議会議長のご祝辞をいただきました。

続いて卒寿を迎えられた六名、米寿の四名、喜寿の二十

六名、古希の十六名の方にそれぞれ委員長より賀詞と記念品が贈られ、これに対して藤田勝衛さんが該当者を代表して、「今後も健康に留意して学習に励み、人生を楽しく過ごします」と謝辞を述べました。

その後、該当者全員による記念撮影をし、アトラクションとして行われた藤踊会の皆さんによる「寿三番叟」などの見事な舞踊を観賞し、別室で一時を過ごしたほか、楽室で昼食を共にしながら、一年の飛躍を誓い合いました。
今年度の寿祝い該当者は次のとおりです。(敬称略)

- 卒寿 沼田次郎、佐久間岩吉
- 小川巳吉、穴戸 義夫
- 米寿 藤田勝衛、佐久間コウ
- 喜寿 菊地キク、佐藤 誠六
- 古希 二十六名

家庭教育講座

やる気がすべて 親子で生きる

一月二十三日(日)大木戸小学校PTA日曜学級において、ヒュウマン ポテンシャル研究所長 渡辺 勇先生のご講演がありました。

先生は「やる気仕掛人」として各地の学校、会社、公民館をめぐり、歩く目覚まし時計の異名で、多くの人々の「やる気起こし」に活躍中で、五十五歳までに三千回の講演を目標にされております。

私たちはいつも「できね、だめだ、ムリすんな」という「悪魔の囁き」(消極的思考)に支配されております。もっと積極的に「やる気を起こして」生きるためには、この「悪魔の囁き」を振り落とすことが大切です。

そのためには、①積極的な言葉を大きな声で言う。(出る、好きだなど) ②積極的なイメージ ③活力音(ラの音)産声、あいさつ、応援などの元気な声 ④ほめ言葉 ⑤笑顔、笑い(笑顔は荷物に



大木戸小学校で行われた家庭教育講座

ならない贈り物。うれしくて笑うのではなく、笑えばうれしくなる。悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しくなる。) ⑥感謝の心(親に対する感謝の言葉がなくなっている)などの実践がある。

人間はクセの動物である。何気なく繰り返している言葉や行為は潜在意識となっており、日常生活にクセとなっており、意識して、声にだして積極的なクセを身に着けなければならぬ。朝起きて子供に「おはよう」と声をかけて下さい。始めは照れ臭いけれども、慣れれば気持ち良くなる。

積極的に生きるか、不平不満「悪魔の囁き」を友として生きるか。子どもにやる気を起こさせるか、親の選択と決



卒寿祝いの賀詞を受ける佐久間さん



にぎやかに滑走を楽しむ参加者の皆さん

断、実践にかかっていると、先生の元気のあるパフォーマンスと、ユーモアあふれる話術に、会場は笑いのうずと活気に満ちておりました。この他に森江野小学校で同じ日に、日曜参観と成人講座があり、九十五人の参加者で北信中学校長の大草栄治先生の講演がありました。藤田小学校でも健全育成会議と共催で一月十八日(火)に福島大学教育学部教授 小野直広先生の講演があり、九十名の参加がありました。

たちまち上達

スケート教室

冬の運動不足解消とスケート技能を身につけようと二月六日、福島市黒岩の「福島アイスアリーナ」でスケート教

室が開かれ、小中学生を中心に三十人が技術のマスターに励みました。バスで会場に到着した参加者はスケートシューズを履いてリンクに登場。アリーナの指導員から基礎を学び、はじめは立つのがやっとだった子供たちも二時間の指導を受けた後は、自由自在にリンクを滑り回り、ウインタースポーツを満喫していました。

子育てコーナー

性教育は

日常のしつけから

一月十四日午前、子育て教室、午後は大枝地区の移動公民館「孫育て学級」があり、福島市の佐藤キイ先生をお招きして、「幼児期は性教育の始まり」と題して次のようなお話を聞きました。

とくに性教育などと同じに張らずに、日常の生活をきちんとしつけてゆくことが大切です。朝起きる、着替える、顔を洗う、トイレに行く、食事をするなど日常生活の一事一事に、性教育の考え方をすこしずつさりげなく教えていく、その中で、はじめ、清潔、他人への思いやりなど

を身につけます。毎日下着を取り替えるというしつけは、不潔感、不快感を取り除くことができるとも大切なことで、これが性でのつまずきを防ぐともいわれています。性教育とはあまり関係なさそうなことでも、それを継続することで、性教育の基盤となります。①風呂：親で裸のスキンシップ(大きくなったネ、きれいだネ)②トイレ：性器はきれいなところ、トイレをきれいにするなど。③生き物の世話：命あるものすべてを見つめ慈しむ心を育てる。交尾している動物を見て「仲よくしているの」とさりげなく。④家族の誕生日：誕生日はまたたかない性教育の場である。この世に生を受けた記念すべき日で、生まれた瞬間の喜び、その時の家族の様子、季節など聞かせる。性教育がはらんし、成熟が早まるなかで、正しい男女の役割、体の変化、特徴などを発達段階に応じて指導していくことが大切になってきます。これは、やがて大人になっ

行事のお知らせ

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事
2	16	水	1	火	子ども移動図書館(森江野小)				
	17	木		2	水	子ども移動図書館(藤田小3年)			
	18	金	3	3	木	木目込人形教室			
	20	日		6	日	親子でクッキング NHK「炎立つ」歴史セミナー			
	22	火	7	7	月	子ども移動図書館(小坂小)			
	23	水		8	火	子ども移動図書館(藤田小2年)			
	2	24	木	9	9	水	子ども移動図書館(大木戸小)		
		27	日		11	金	成人学級学級委員会 子ども移動図書館(大枝小)		
						備	考		子ども移動図書館の活動 3月は折紙で手裏剣づくり

てから社会や生活の中で、男女の敬愛、共同の関係を實現する基盤となるように援助することだと思えます。先生は長い社会教育のご経験から、今エイズなど世間で

やかましく言われている問題を、このようにわかりやすくお話し下さいました。また、お話の合間に健康体操、疲れをとる体操なども指導して下さいました。

わ
だ
い

磁気共鳴断層撮影装置

(MRI)を導入

公益藤田総合病院

公益藤田総合病院では、今年一月より最新鋭の画像診断装置MRIを導入しました。この装置は、磁気の共鳴現象を利用して、体の患部をあらゆる角度から断面撮影することができると診断装置で、X線撮影などに比べ人体への影響もなく、安全性も高く、脳血管、心臓疾患、および、脊髄、脊椎、関節等の疾患の診断に高精度の画像診断が得られ、脳神経外科や整形外科な



公益藤田総合病院に導入されたMRI

ど広範囲な分野での活用が期待されます。

また、脳ドック等も可能となり、成人病健診の精密度を高め、早期発見・予防に貢献できると思います。

水墨画を展示

新春作品展

国見町水墨画クラブ(大内正美会長)では、新春作品展として、一月二十二日から二十九日までの八日間、観月台文化センターの多目的スペースに、水墨画七十三点を展示しました。

また、国見町絵画クラブ(高橋丑藏会長)でも、油絵や水彩画など十三点を賛助出品し、花を添えました。



多目的スペースに展示された水墨画

今回の作品展は、昨年十一月に発足したばかりの水墨画クラブ会員二十二名にとって、練習の成果を発表する初めての舞台となり、また、多目的スペースを使用しての初企画となりました。

会議やサークル活動などで、観月台文化センターを訪れた人たちは、新春らしい催しに足をとめて見入っていました。

文化財をパトロール

文化財防火デーの一月二十六日、国見町文化財保護審議会(菊池利雄会長)では、平成六年度の文化財保護事業計画と観月台文化センター歴史資料室の展示について協議を行った後、文化財パトロール



文化財をパトロールする審議会委員の皆さん

を実施しました。

パトロールは、「貴重な文化財を火災から守ろう」と毎年実施されているもので、文化財保護審議会委員のほか、町教育委員会も参加して行われ、光明寺の三常院などの防火体制を見て回りました。また、前日の二十五日には、消防署による佐藤家住宅の立入検査も実施されました。わたしたちの文化の礎となる文化財を、いまと同じ姿で残すために、一人一人が、文化財に親しみ、大切にすることをしましょう。

交通安全

マスコットづくり

国見町交通安全母の会では、



交通事故防止を願うマスコットづくり

二月五日、観月台文化センター第一会議室において、交通事故防止を願ひ、交通安全マスコットの「事故ぼうし君」と「無事故パンダ」を、カラー軍手を利用して作りました。黄色い帽子をかぶった「事故ぼうし君」は、交通安全テント村作戦の時に、ドライバーに、そして、「無事故パンダ」は、今春の新人学児童に贈られる予定です。

編集日記

○風雪、氷柱、凍結路面、どこを見ても冬景色！と思っていたら、役場庁舎の裏手に、雪に埋もれたふきのとう。植物の生命力の強さをしみじみと感じると共に、春はすぐそこまで来ているという感じをうけた。

不況という厳しい寒さの中に、ふきのとうのような春を告げる「芽」は、いつ出て来るのだろうか、そんなことにまで思いをはせる今日である。

(S)

編集

国見町総務課 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁目二の1
●九六九一七 ●(〇二四五)八五二二一(代表)